



鷹中だより



- ◇校訓「響（ひびき）～自分の心に みんなの心に～」
- ◇教育目標「自立 持続 感動」
- ◇重点目標「主体的に学び、判断し、表現できる生徒の育成」

TEL：87-2008 FAX：87-2104 MAIL：takachuu@educet.plala.or.jp

「夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ」

校長 本田 明路

この言葉は、ある高校の野球部にある、66か条の「部訓」の1つです。この高校は甲子園にも出場している強豪校です。その高校にあるこの部訓について少し紹介いたします。

この部訓は、監督がどうやったら自分の思いが選手に伝わるかと考えた時に、野球部の指針のようなものがあると便利だと考えて作り始めたそうです。

この部訓はインターネット上でも御覧いただけますが、その50番目に「夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ。夢をもつ人10,000人、夢に向かって行動する人100人、やり続ける人1人。」とあります。

さて、この言葉ですが、「夢は逃げない」でさらにインターネットで検索してみますと、実業家の高橋歩さんの「夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ。」という言葉が見つかりました。そして、「夢を持つ人10,000人」で検索してみますと、作家の中谷彰宏さんの「したい人、10,000人。始める人、100人。続ける人1人。」という言葉が見つかりました。

先の部訓は監督がこのお二人の言葉を引用したものなのかなと思いますが、定かではありません。ただ、監督の部訓も、高橋歩さんの言葉も、中谷彰宏さんの言葉も、私には、ぐっとくるものがありました。

先の部訓の「夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ。夢をもつ人10,000人、夢に向かって行動する人100人、やり続ける人1人。」という言葉が、なぜ私がぐっとしたかといいますと、昨年度、前任校の卒業式で卒業生に向けて贈った式辞を思い出したからです。私は式辞で次のように話しました。

～志次第でどのような夢でも叶えられる、これまでは考えられなかったことを、だれもが成し得る、創り出すことができる時代なのだととらえてはどうでしょう。

壮大な夢であってもいい、堅実な夢であってもいい。そして、向かうべき夢の方向がどこかで変わったとしても、それを悔いることも、恥じることもありません。大切なのは、夢を描き、夢に向かってまっすぐな心で今を歩き続けることです。誠実で、健やかな心と体を持ち、勤勉で、人との関わりの和をもって行動できる人が、強みを発揮できる時代です。仲間と高め合ってきた学びに自信をもって、これからの人生を歩んでください。～

夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ。夢をもつだけの人から、夢に向かって行動し続ける人になってほしい。その先に輝く自分があるのです。そのために、まず自分の将来の夢を具体的に考えてみましょう。まずはそこからです。

夢が見えたら、後はそこに向かって行動するだけ。やり続ける一人でありたいものです。

避難訓練

10月1日5校時 緊急地震速報が突然校内に流れました。『まず低く・頭を守り・動かない』生徒たちはきちんと対応できていました。その後火災が発生したため、屋外に避難しました。

今年度も2回避難訓練を行いました。今回も適切に避難することができました。



1年町内見学

10月9日 1年生が町内見学を行いました。「ふるさと共育」の一環で、まちの魅力を再発見することを目的に、『とわ北斗』『ワインぶどう畑』『デイサービスセンターはびねす』を訪問し、地域の人とふれあいました。



- 1日(金) 鷹栖町児童生徒音楽発表会
- 3日(日) 祝日：文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 常任委員会
- 6日(水) 職員会議(午前授業)
- 7日(木) 全学年学力テスト
- 12日(火) 3年三者懇談(~20日)
- 18日(月) 開校記念日
- 22日(金) 鷹栖町教育研究集会
(午前授業)
- 23日(土) 祝日：勤労感謝の日
- 25日(月) 部活動中止(~28日)
- 28日(木) 1・2年2学期末テスト①
- 29日(金) 1・2年2学期末テスト②

2年職場体験学習

10月8日、2年生は、職業を調べる学習や体験を通して、人や社会とのかかわりの中から自らの生き方を考えるため、12の職場に分かれて職業体験を行いました。働くことの意味を考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かす学習となりました。

22日には発表会を行い、働くことへの理解を深めたり、自分の将来についての考えを深めたりしました。



*お引き受けいただきました各事業所の皆様、ご協力ありがとうございました。

Cafe de Takachu

10月18日に、Cafe de Takachuを行いました。令和元年度以来の開催となりました。参加者は少なめでしたが、たくさんの笑い声があがり、大変楽しいひとときを過ごしました。

